

レ・クレドール ジャパン会報誌 “キー・ニュース”

*Les Clefs d'Or Japan*

*Key News*



2022年12月 第58号

発行：住吉真矢子

編集：田中英司 今泉愛子 嵯峨崎のぞみ

Website : [lesclefsdorjapan.com](http://lesclefsdorjapan.com)



Les Clefs d'Or Japan



[lesclefsdorjapan](https://www.instagram.com/lesclefsdorjapan)



# Les Clefs d'Or Japan 25th Anniversary

文・小島久枝、山本美砂

1997年11月18日ハンガリーブタペストにて開催されたレ・クレドール インターナショナルコンgressにおいて日本が第33番目のチャプターとして認められました。晴れやかなレ・クレドール ジャパン誕生の瞬間を今でも鮮明に覚えています。

あれから25年が経とうとしている2022年11月15日、グランドハイアット東京にてアクティブメンバー、アフィリエイトメンバー、OBOG、そして海外メンバーが一堂に会し、レ・クレドールジャパン25周年を祝いました。



コロナ禍で2年半振りに実際に顔を合わせる事が叶った喜びを噛みしめ、これからも皆、同じ目的を持って邁進していく事を誓ったプレジデントの住吉真矢子の挨拶に始まり、グランドハイアット東京総支配人Mr. Cooper によるウエルカムスピーチの後、レ・クレドールジャパンの歴史の1ページをそれぞれが飾ってくれた懐かしい元メンバー12人が住吉会長より紹介されました。

レ・クレドールジャパンをずっと見守り、変わらぬサポートをして下さっているInternational New York TimesのMs.Helena Phua による乾杯！の発声で華やかなパーティーが始まりました。





グランドハイアット東京のパティシエチームがお作りくださった素晴らしい25周年のアニバーサリーケーキが華を添え、皆が思い思いにお心尽しの美味しい料理を堪能し久々の再会に心を躍らせました。

ファウンドメンバーの一人である池田里香子氏からのスピーチでは、富士山をモチーフにしたロゴの成り立ちが紹介され、“レ・クレドール ジャパンは日本最高峰のおもてなしを提供する”という発足当時の思いがそこに込められていると伺いました。また「LE HALL」より、“人間は、人によって与えられた心の感動、美しい笑顔や誠実さ、心遣いこそホスピタリティの真意とみなします。多くの素晴らしい技術革新を導入してうまく適応させながらも、コンシェルジュの真のサービスや理念は永遠に受け継がれていくでしょう”という一文も紹介されました。デジタル化など目まぐるしく変わりゆく時代の中でも、受け継ぎ、継続していくことの大切さについて貴重なお言葉をいただきました。

続いて、株式会社Gコンセプト 荒谷様と、サントリー酒類株式会社 棚橋様よりアフィリエイト企業を代表してお祝いの言葉を頂戴しました。



また新たに入会したメンバー6名からは、自己紹介を兼ねて今後の抱負などについてスピーチがありました。彼らが今後、新しい風として、レ・クレドールに更なる活力を与えてくれることを期待しています。

終盤には、海外のインターナショナルメンバーから寄せられたビデオレターや手紙が披露され、世界各国からの温かい言葉に、会場は感動に包まれました。

閉会の言葉として、ヴァイスプレジデントの今泉愛子より、今日に至るまでサポートしてくださったすべての皆さまへ感謝の気持ちが述べられました。

今後もしかなる困難な状況におかれても、我々のコンシェルジュという職に対する情熱は変わることなく、友情の絆も失われないことを確信したひとときでした。

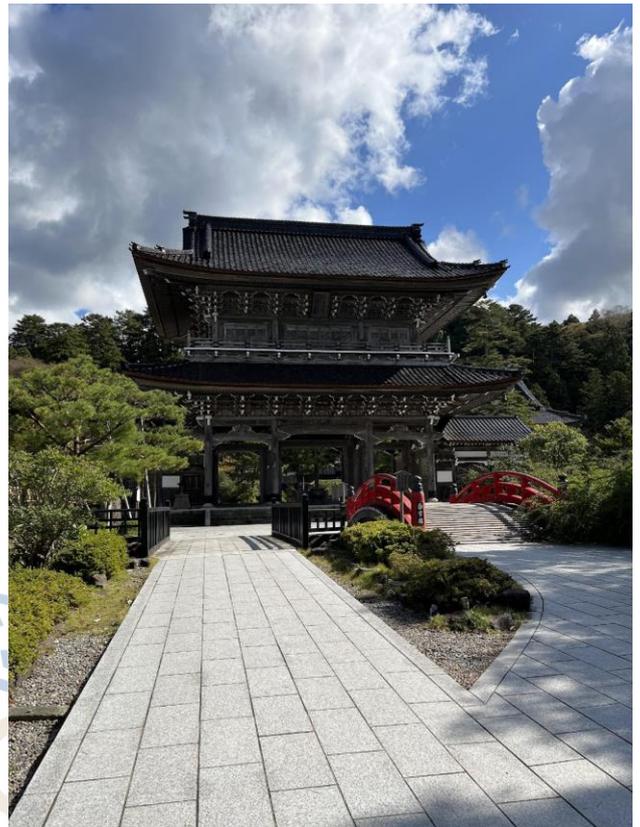


# 石川県ファムトリップ

文・加藤 香織

2022年10月26日から3日間、石川県観光戦略推進部国際観光課様主催によるファムトリップが開催され、レ・クレドールメンバー7名が参加しました。

石川の中心であるJR金沢駅までは東京からは新幹線、又京都からは特急で約2時間半で乗り換えなしで移動出来ます。3日間共好天に恵まれ、能登を中心に石川県の伝統工芸や文化などの魅力に触れ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。全ての行程を座り心地のいい独立したシートに改良した小型のラグジュアリーバスで移動しました。



1日目は金沢駅から能登エリアまで高速道路で約2時間かけて移動し、まず大本山総持寺祖院を訪れました。今から700年前に開創された永平寺と並ぶ曹洞宗の寺院で、ドイツ人僧侶のゲッペルト昭元様が接遇係として外国人ゲストの対応にも当たられていることが印象的な寺院でした。

次に海が見渡せる小高い丘に建てられた「ハイディワイナリー」の開放的なレストランでワインが引き立つ食事を頂きました。ストレスを与えない為に手摘みされたブドウで作られたワインは濃厚な味わいでした。食事の後は日本遺産にも認定されている能登のキリコ祭りで使用される大小様々なキリコの展示を見学するため「輪島キリコ会館」を訪れました。キリコとはランタン=大きな奉燈の事でそれぞれに個性的な装飾がされているのが特徴的でした。

この日の最後には工房兼自宅が国登録有形文化財に指定されている「大崎漆器店」を訪れ、漆塗りの工程についての説明を伺い、人間国宝の方が製作された作品を拝見しました。どれも繊細な手仕事が行われており一同魅了されました。





この日宿泊した和倉温泉にある加賀屋の別邸「松乃碧」は全室オーシャンビュー、オールインクルシブ制で大人が静かに滞在できる空間でした。館内には輪島塗の人間国宝であった「角 偉三郎氏」の作品が美術館さながら至る所に展示されており、伝統工芸を身近に感じることが出来ました。

翌朝は能登島をめぐるサイクリングコースを視察し、地元の方たちとの触れ合いを重視されているツアーは特にフランス人ゲストに人気があるそうです。

金沢に戻る道中では「千里浜なぎさドライブウェイ」という日本で唯一車で走行できる砂浜を通るといふ貴重な体験をしました。

その後のひらまつシリーズの「ジャルダン・ポール・ボキューズ」でのランチでは観光課の他の職員の方とも意見交換ができ、石川県のインバウンドの状況などをヒアリングすると共に今回の視察の感想をお伝えしました。

最後には「大樋焼」の工房と美術館を訪れ、ご当主の十一代大樋長左衛門様より、常に探求心を持ち新しいことに取り組んでいらっしゃる作陶に対する思いなどを伺い、又、特別に実際に土をひねり作品を作る様子を見せて頂くことができ、一同感動しました。

最終日には金沢市内で人気の観光施設を視察し、金沢の良さにも触れることが出来ました。金沢市、そしてそれ以外にも魅力あるコンテンツに溢れている石川県を幅広く知ることができ、特に能登エリアはまだ外国人ゲストに知られていない貴重な場所として今後積極的にご案内していきたいと思いました。



## Getting to Know Our Members!

## ザ・ペニンシュラ東京 田中 あかね



コンシェルジュ歴：22年  
レ・クレドール歴：14年

所属ホテルのハイライト：旗艦ホテルであるザ・ペニンシュラ香港（1928年開業）を筆頭に、世界10都市でラグジュアリーホテルを運営しており、香港、上海、北京、ニューヨーク、シカゴ、ビバリーヒルズ、バンコク、マニラ、パリ、東京のほか、現在イスタンブールとロンドンにも建設中です。常に各都市の一番のロケーションにあり、アフタヌーンティ、月餅、マンゴープリンなどが人気で有名です。ザ・ペニンシュラ東京は2007年有楽町に開業し、2022年9月で15周年を迎えました。

**休日の過ごし方**：子供のころから運動と音楽が大好きな私は、毎週一回のジム通いと、月二回のヴォイストレーニングは、どんなに忙しくても欠かすことはありません。ヴォイストレーニングに至っては、最近ではオペラを始めましたが、その難しさは想像を超えるものでした。他にはもちろん美味しいものを食べ、飲み、それを家で再現することも好きなので、友人、家族、そしてレ・クレドールメンバーと外食、旅行などに行った際、好きなものを見つけては、家で（もちろん我流で）再現できるかを試したりしています。



**とっておきの場所**：弟が近くに住んでいることもあり、弟夫妻とよく出かけることが多く、月に一度は弟の家で一緒に食事をします。彼の家は周りに高いビルもなく、東京の西側を一望できるので、特にお天気の良い日はバルコニーから富士山を臨むことができます。夕焼けに包まれ、東京の街がだんだん暮れていく様を見るのも醍醐味です。

**一番好きなレストラン**：目黒区池尻大橋にあるイタリア料理の「オステリア・ヴォーノ」。オステリアボーノは私の住む田園都市線にある池尻大橋駅より徒歩1分のところにあるイタリアンレストランです。シェフの島田さん、アシスタント兼ソムリエの宮崎さんは毎年イタリアまで赴き、現地での色々な出会いと思い出を大切に持ち帰りシェアしてくれます。イタリア本場の味を試したい方にはお勧めです。小さなお店で隠れ家的な使い方ができるので、お勧めです。



## 定例会開催

### 11月

グランドハイアット東京で開催され、ハイブリッドミーティングが始まって以来、初めてほぼ全員のメンバーが一堂に対面で集まりました。

10月に石川県視察に参加したメンバーを代表して日航プリンセス京都の山田氏より、視察報告がありました。能登半島の魅力、和倉温泉松乃碧様でのおもてなしについての紹介がありました。

メンバーの森氏より、UICHのCSRコミティメンバーが10名に増員されたと報告がありました。

2023年3月にイスタンブールで開催されるコンgresでのCSR活動予定内容の報告、アイデア公募の案内がありました。各ホテルのSDGsの取り組み内容についての報告活動の継続、NPO法人キッズドアへのサポート再開提案などについても報告がありました。

元レ・クレドール ジャパンメンバーで現在は台湾でメンバーとして活躍中の若生通彦氏が来日し、久しぶりの再開を果たし、定例会で一言頂きました。

### 12月

東京ホテル・観光&ホスピタリティ専門学校の会場をお借りして開催されました。素晴らしい施設を兼ね備えた学校で、そちらで学ぶ生徒様からも温かくお迎えをしていただきました。

11月に開催された25周年パーティーの報告がありました。メンバー30名、アフィリエイト17名、OBOG11名、海外メンバー4名、合計64名が出席し成功裏に終了しました。

雲仙天草国立公園の視察に住吉氏、アフィリエイトの和田様が参加し、その報告がありました。

メンバーの亀井氏が参加した国立公園オフィシャルパートナーシッププログラム意見交換会の報告がありました。国立公園のブランド力を高めるための広報連携についてをテーマに意見交換が行われ、レ・クレドールジャパンとしてもSNSにおける国立公園の発信を今後も続けていくことを確認しました。

メンバーの加藤氏より石川県観光戦略推進部国際観光課主催で開催された石川県視察に関する報告がありました。

海外からのお客様が戻り、コンシェルジュの現場において抱える課題についてメンバー同士で情報共有をする時間を持ちました。ホテル全体における人材不足、新規スタッフの経験不足、外国人受入れ体制が整っていないレストランや施設が増えたことなどが話し合われました。

